

合同法要祭  
2018

今年の法要祭には60名を超えるお客様にご来苑頂きました。関係者一同心より御礼申し上げます。



奈良山でイベントを行えば雨になり、酷い時は稲妻も光る。それが、なんということでしょう。今年は晴。桜の開花にも恵まれました。(笑)

今年は「いい天気やね〜」「桜も咲いたね〜」と大勢の人に声をかけられました。賑やかな雰囲気につき寄せられヤキさんも珍入!!

いつもは静寂な霊苑に大人や子供の会話が笑い声に包まれた一日でした。

本当にありがとうございました



霊苑が絆を深める場になれば私達スタッフはとっても嬉しいです。いつでもお立ち寄りください。

届いた便り♪

昨年8月に当霊苑へ取材に訪れた中学生のM君(現・高校生)から、「多様化する弔いの形」という論文が届きました。

取材のきっかけは東京在住のM君は一人っ子。新居浜市にある父方の墓守をする立場であり、将来必ず自身が直面する問題だと気づいたそうです。

この論文を学校で発表した際には、「お墓に継承者が必要だと知らない大人達から驚きの声があった」と同封の手紙に書かれていました。

また、M君の通っている学校では毎年約30名の優秀論文を1冊に纏めて国会図書館に寄贈しているそうで、M君の論文も選ばれています。

「読んでみたい」「お墓について悩んでいる」方は管理事務所へお声かけ下さい。私達が悩み解消のお手伝いをしますよ!!

夏祭りへ行こう!

宇和島 牛鬼まつり

松野町 森の国夏まつり

8/13(月)

7/22(日) 組合長も参加!

23(月) 子ども牛鬼パレード

24(火) 牛鬼パレード

中山になりました



今春、霊苑最上段の山際を覆っていた松の木を間伐しました。これです少しは、松の枝落ちも減ると思います。3期手桶置場の屋根を補修しました。皆様に気持ちよくご利用いただけたら嬉しいですよ。

発行元：奈良山霊苑管理事務所  
〒798-1351  
愛媛県北宇和郡鬼北町奈良4230-1  
電話番号 0895-45-0164  
http://narayama-reien.jp  
営業時間 9:00~17:00  
定休日 日曜・祝祭日

供養の想い

お墓やお永代供養・樹木葬に置かれたお花を見ていると、亡くなっても大切に想われ、偲ばれ幸福だなく、と心がホッパカ温かくなりました。お仏壇やお墓の前で亡き人を想い、花を手向け、手を合わせることは、子供や孫の世代にも受け継がれてほしいですね。手のシワとシワを合わせて祈りましょう。

お幸せに…合掌

私達はお仏壇やお墓、お葬式や結婚式などでかならずお花を手向けたたり飾ったりしていますね。

お葬式に欠かせないお花の歴史は6万年前にさかのぼります。ネアンデルタール人の骨の周囲から花粉が発掘され、はるか昔から亡くなった人に花を供える習慣があった事が分かっています。お葬式の際に花を手向けるのは「仏様に美しいものを手向け仏様をお飾りする」という意味もあり、それだけではなく「手向ける人の心を穏やかにする、花を通じて命のはかなさや尊さを知る」と言われています。大切な人を安らかに見送りたい、と想う気持ちが昔からお花にはあるのです。

霊苑にはお盆やお彼岸以外でも、月命日にお参りされている利用者様がいます。先日、永代供養塔の納骨室へお参りの方をご案内しました。「寂しくない?会いに来たよ。今度は皆で来るからね。」と話かけていました。

山下家のほのぼのエピソード

私、亀澤は山下家に生まれ育って30年。自分で言うのもなんだが、山下家はそれはそれは先祖を大事にし、物心ついた頃から朝起きたとき、夜寝る前と「般若心経」を唱えるのが日課だった。

ある日・・・  
父(組合長)が  
昼休みに帰ってきて、ご飯を温めてもらうべく妹に言った。  
父「K〜、父ちゃんちょっと用事あるけん、チンしとてや〜」  
K「分かった〜」  
――数秒後――  
「チン」  
父(組合長)の派手にスッコケる音がした。

…K  
そのチンじゃないよ(笑)

埋葬・納骨時のお願い  
埋葬する場合には、市町村等の発行する「(改)埋葬許可証」と契約時にお渡ししている「永代利用証明証」をご提示下さい。(樹木葬・永代供養も含む)

「墓地の管理者は、(改)埋葬許可証を受理した後でなければ、埋葬させるはならない」と、墓地・埋葬に関する法律によって定められています。

ご不明な場合は事務所までお問合せ下さいませ。

年間管理料について  
(墓地該当者様のみ)  
平成30年度年間管理料を10月29日(月)にお引き落としさせて頂きます。

引落口座を変更したい方、領収証の送付をご希望等ございましたら、事務所までご連絡願います。

不法投棄について  
苑内ゴミ置き場に雑誌やスプレー缶・ペンキ缶等の不法投棄がされています。「不法投棄が行われている」・「不法投棄をしようとしている」等を見かけたら事務所までご一報下さい。

マナーは守りたいですね。



# 専務のコラム



私が石材加工工場で文字切りを始めて1年が経った。

文字切りとは、ゴムシートに描かれた文字を切り抜いていく作業で、描く・切る・彫るという工程の一端を担う。文字彫りの仕事にはどれも熟練した技術は欠かすことが出来ない。

文字の彫り込みは、墓石を作っていく上で最後の工程となる。

山から切り出された原石は、加工工場の中で大きなダイヤモンドカッターで小割され、細工加工を施して何枚もの研磨盤で磨かれ、やがて墓石が仕上がるが、文字を彫り込む作業は正に魂を刻み込んでいく最後の大切な仕事である。

御施主様にとってかけがえのない人の名前が刻まれた瞬間から、「石」は「お墓」となり代々その家に受け継がれていく。



最近では石屋さんでもコンピューター化が進み、文字もパソコンで作成されたものが主流となった。山下石材にも「文字切りソフト」なるものが実は、ある。それは先代が亡くなる前に、筆でお墓の文字を全て描いていた先代の文字をパソコンに取り込んで残していきたいとの考えからであった。

先代は生前よく言っていた。

「お墓の文字は大事なんぞ。仏様の名前を彫るんやけん、魂を込めて丁寧に描かんといけん。パソコンの字は味気ないけんの。わしはイヤなんよ。」と。

ついでに、「お父さんの字は良からう(´●・v・●)」と、大層ご満悦であった。



私が小学生の頃、学校から帰ると当時自宅の横にあった加工工場に行き、お墓の文字をノミでコツコツと叩いている父の姿を眺めるのが大好きだった。

父は、傍らに座ってのぞき込む私に振り向くでもなく話しかけるでもなく、ただ無言でノミを動かす。その空間だけは別の時間が流れていた。

単調なリズムでコツコツと音をさせてフーッと石粉を吹くと見事に文字が浮かび上がってくる。

私はそれをワクワクしながら、時間が経つのを忘れて見ていた。

今では文字をノミで彫り込む石工職人は全国でもほとんど居なくなってしまったのは心の底から残念に思う。

先代が7年前に急逝してから、文字は現社長に引き継がれた。

突然バトンを渡されてもちろん不安もあったと思うが、先代が字を書くときにいつも着ていたジャンパーを羽織ると、なぜか先代とそっくりな文字が描けたという。まるで右手に先代の魂が乗り移ったかのように。不思議な話である。



今では社長の文字は我が社の看板だ。

そして1年前に文字切りの職人が退社してからは私が文字を切るようになった。

我ながら随分上達したとは思いますが、上から「まだまだ」と父が笑いながら見ているような気がしてならない。

